

那須烏山市伝統芸能まつり

市内文化財の魅力伝える

地域活性化支援などに取り組むNPO法人「えーとちぎ」確米光正事務局長では、2月9日(日)「那須烏山市伝統芸能まつり」を南那須公民館で開き、市内外の約250人が本市の伝統芸能を楽しみました。

これは、少子高齢化で伝統芸能の傳承が難しくなっていることから、市民に地域の伝統文化の魅力を知ってもらおうと初めて開かれたものです。

当日は、市の文化財などに指定される「熊田太々神楽」、「塙の天祭」、「興野ささら獅子舞」、「宮原八幡宮観世流太々神楽」を披露したほか、「子ども常磐津教室」のメンバーによる演奏がさ

れ、それぞれ公演を終えると観客からは盛大な拍手が沸き起こりました。その他、豚汁の無料配布や道化による「がらまき」も行われ、会場はにぎわいました。

宮原の大橋禮子さんは、「息子が出演すると聞いて孫を連れて見に来た。孫もとても喜んでいたので、こういった機会を多く作って欲しい」と話していました。

確米事務局長は、「前日の大雪で足場が悪い中、多くの人に足を運んでもらえてうれしい。これからも魅力ある地域の伝統芸能を広く伝えていきたい」と話していました。



上:興野ささら獅子舞。
下:子ども常磐津教室。

第23回栃木県郷土芸能大会 山あげ祭「戻橋」を披露



県内各地の民俗芸能団体が出演する「第23回栃木県郷土芸能大会(栃木県郷土芸能保存協会主催)」が、2月2日(日)、宇都宮市文化会館小ホールで開かれました。

当日は、県内12団体が自慢の郷土芸能を披露。本市からは、烏山山あげ保存会が山あげ祭の芸題「戻橋」を披露しました。古くから伝わる舞いは観客に感動を与え、本市の伝統芸能を広く知ってもらえたようです。また、7月に本番を迎える「山あげ祭」に足を運んでもらえるようにと呼び掛けました。

市放課後子ども教室推進事業

「ここなす教室」がはじまります

市では、放課後の子どもの居場所づくりと学習支援を地域の人材を活用して行おうと、市放課後子ども教室推進事業を進めています。今年1月18日(土)から2月15日(土)まで3回にわたり烏山小の1～6年生を対象として試行的に、コミュニティひろばBonBon等で「ここなす教室」を開きました。

この教室では、スタッフとして、地元の教員OBや学生、

児童クラブ指導員、ボランティア等の協力を得て、子どもたちが市民とのコミュニケーションを図るために烏山市街地を探索したり、ボーイスカウトの指導を受けながらゲームを通じた自然ふれあい体験等を楽しみました。

平成26年度は、6月から平成27年3月まで週1回(長期休業中は不定期)、こども館等を利用して烏山小の1～6年生を対象に、実施する予定です。



室内遊びを楽しむ子どもたち(2月1日、第2回テスト教室)。

JR 烏山線の蓄電池電車運行記念イベント

3月15日「春の山あげ祭」いよいよ公演

金井町若衆団

準備は万端、本番待つのみ

JR 烏山線の蓄電池電車初運行を記念して、国の重要無形民俗文化財「山あげ祭」が烏山駅前で開催されます。

今回、山をあげるのは、烏山駅が位置する

金井町の若衆団（菊地義之筆頭世話人。夏の「山あげ祭」以外に山をあげるのは異例で、担当する若衆も熱が入ります。



「俺たちは最高の裏方でいい」と話す金井町若衆の皆さん。



はりか山の修復が着々と。

《アキム運行記念イベント情報》

◇日程 3月15日(土)

春の山あげ祭

①午前11時30分～ 三番叟、蛇姫様

②午後2時45分～ 蛇姫様

※午後1時20分から宮原太々神楽を公演します

おもてなし広場 午前10時～午後4時30分
グルメ(やみぞカレーパン、そば、石釜焼蕎麦ピザ、釜飯、なんこつ煮、焼きそばなど)、特産品の販売等24店舗

◇場所 JR 烏山駅前通り「春の山あげ祭

駅前広場：おもてなし広場

◇その他 鳥崎酒造の「東力士酒蔵まつり」

3月15・16日 午前10時～

・どうくつ酒蔵(神長)の開放

・試飲コーナー ・抽選会

・利き酒 ・零取り実演

・陶芸品、野菜の販売 など

◇問合 商工観光課観光担当

☎0287-83-1115

《JR 烏山線沿線ウォーク》

◇日程 3月29日(土) ※雨天決行

受付時間：午前9時～午前10時

出発時間：午前9時30分(順次スタート)

◇参加費 300円(当日徴収)

◇受付場所 宝積寺駅東口ちよっ蔵広場

◇コース JR 宝積寺駅からJR 烏山駅(22.4km)

※詳しい内容は、総務課危機管理室 ☎0287-83-1111までお問い合わせください。

準備期間が短いことから、同町では、当

番町だった4年前の山や舞台を修復して

挑みます。作業は1月中旬から始まり、若衆がそれぞれ仕事などの合間を縫って進めてきました。2月23日(日)には、山あげ保存会芸能部とのリハーサルを行い、いよいよ本番を待つのみです。

本番を前に菊地筆頭世話人は、「今回は、

いつもの半分以上の人数で山をあげるの、少ない人数でもできるというところを見て欲しい。また、夏の山あげ祭に向けて少しでも

宣伝できたら…」と話していました。なお、同

町では、東北地方の震災復興と震災の記憶を風化させないため、「春の山あげ祭」当日に募金を集め、被災地に寄付する予定です。

全国初の導入

蓄電池電車「ACCUM」

JR 烏山線では、3月15日(土)より、全国

初の蓄電池を用いた新型電車EV-E301系愛称「ACCUM(アキム)」を導入

します。運行は、宇都宮駅や宝積寺駅から烏山駅までを2両編成で1日3往復する予定で、それ以外は、今までどおり、キハ

40形気動車が走行します。

アキムは、電化された宇都宮から宝積寺駅間走行時に充電をして走行します。

そのため、ディーゼルエンジンの気動車のような排気ガスがなく、二酸化炭素や騒音を削減することができます。

また、この日に合わせ、市内2ヶ所の駅舎がリニューアルオープンします。神社が併設されている「大金駅」は神社との一体感をコンセプトとした駅舎、「烏山駅」は市の伝統行事「山あげ祭」をモチーフにした駅舎となります。

このことは、鉄道ファンなどだけでなく、全国各地からの集客が期待されています。この機会に市民の皆さんも「新しいJR 烏山線」を利用してみてはいかがでしょうか。

菊池寛さん(小倉)森林を有効活用

県育林コンクールで農林水産大臣賞

広葉樹林や育成複層林などの多様な森林整備を促進するための「平成25年度栃木県育林コンクール(県、県林業振興協会主催)」の森林活用部門で小倉の菊池寛さんが、農林水産大臣賞を受賞し



受賞のうれしさを語る菊池さん。

ました。

菊池さんが所有する林地は、適正な管理で林内照度を十分に保つなどし、マルバフジバカマやワラビ、タラノメ等の下層植物を生育。育林の目的や施業の計画、保育の経過、林分の状況等の項目で高く評価されました。

30年前から森林の有効活用に取り組む菊池さんは、「山に入って四季が分かる山にしたいという思いで作った。今まで失敗ばかりしてきたけれど、この賞を受賞できたのは、教えてくれた先輩や支えてくれた人たちのおかげ」と笑顔で話していました。

山本耀椰さん(鳥山小6年)と塩畑祥子さん(野上) 三行詩コンクールで全国へ

「たのしい子育て全国キャンペーン」親子で話そう!家族のきずな我が家のルール「三行詩」コンクールの栃木審査(栃木県PTA連合会主催で、鳥山小6年の山本耀椰さん(小学生の部)と野上の塩畑祥子さん(一般の部)が最優秀の「栃木県PTA連合会長賞」を受賞し、中央審査(全国)に推薦されました。

このコンクールは、親子のコミュニケーションなどによって育まれる家族のきずなや、一緒に取り組むことの大切さを社会全体で呼びかけていくために開かれているもの。県内からは、415作品の応募がありました。

家族の仲が良いという山本さんの作品は、「ねる前に家族でやるうですもう1位はお父さん、2位はお母さんほかが強くなるまで続けてね」というもの。受賞の感想を聞くと、「家族にアドバイスをもらいながら実体験をもとに考えた。まさか選ばれると思っていなかったので驚いた」と話していました。

た。

塩畑さんの作品は、「ありがとう、ごめんなさい 言えるわが子に笑み返し お前も言えよと夫がつぶやく」。塩畑さんは、「深くは考えず、頭にぱつと出てきた。大人になって表彰されることは少ないので、とてもうれしい」と話していました。

なお、塩畑さんの作品は、中央審査で「佳作」を受賞しました。



鳥山消防署と南那須分署を統合 那須烏山消防署が誕生します

地域の安心と安全を守る重要な防災拠点として、神長地区に建設が進められていた新消防庁舎「那須烏山消防署」が完成しました。

3月17日(月)から鳥山消防署と南那須分署の消防機能が同消防署に移転。3月25日(木)には、消防庁舎の竣工式が行われ、新体制の「那須烏山消防署」として、4月1日から運用がスタートします。

同消防署は、両署の組織を統合した職員を配置。緊急時に備え、救急車は2台で運用し、管内の救急事故に迅速に対応するほか、防災ヘリ・ドクターヘリの専用ヘリポートも整備されています。また、県内で初めての救助訓練用の主・副訓練塔を併設し、多種多様な災害現場が設定できる訓練施設が整備されています。

今後、南那須地区広域行政事務組合では、消防組織の再編を進め、平成27年度までには馬頭分署と小川分署を統合した那珂川消防署も完成する予定です。



一般の部:塩畑さん(左)と
小学生の部:山本さん(右)。

第7回元気あつぷ市民のつどい 運動で心も体もリフレッシュ

市では、2月22日(土)のこころを元気にする日に合わせ、第7回「元気あつぷ市民のつどい」を南那須公民館で開きました。

当日は、市民約50人が健康クラブの内藤允さん考案の「おらー元気だ体操」や「長生き音頭」「イスウル友の会による「フリフリグッパ」を体験。その他、

栃木県健康倶楽部の小熊理恵健康指導士による「ラジオ体操講習会」が開かれ、東北なまりの音楽で参加者たちの笑いを誘いました。講習会を終えた参加者たちは、「たくさん笑ってすっきりした」と心も体もリフレッシュできたようです。



運動でリフレッシュする参加者たち。

市地域雇用 創造協議会 県内初の市をエリアとした 合同就職説明会・面接会

市地域雇用創造協議会では、ハローワーク那須烏山と共催の「那

須烏山市合同就職説明会・面接会」を2月27日(木)、那須烏山商工会館で開きました。

これは、地域の特性を生かし、雇用を生み出す「実践型地域雇用創造事業」の一環で県内初の試み。また、ハローワークとしても県内を広域的に実施している説明会・面接会はあるものの、市をエリアとしたものは初めてです。

当日は、市内の建設業や老人福祉・介護事業、印刷業等14の企業が参加し、約31人の求職者が足を運びました。



県内で初めて開かれた「合同就職説明会・面接会」。

シリーズ

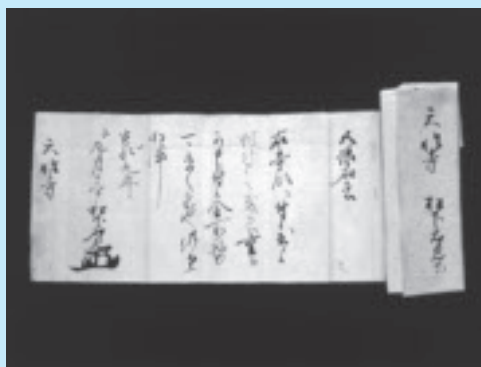
市の文化財

第35回

市指定文化財

まつした いわみの かみ き しんじょう

松下石見守寄進状(南)



松下石見守重綱は、元和9年(1623)常陸国小張(茨城県)から烏山領主となりました。寛永4年(1627)、再び国替えを命じられ、奥州二本松(福島県)領主となりました。

この文書は、寛永元年(1624)、天性寺に寺領(年貢免除地)の寄進が行われた際、松下氏より出された寄進状です。書面からは、新領主として領内社寺への年貢免除を保障することで、領民の掌握に努めていたことが伺え、僅か4年間という松下氏治世の様子を示す数少ない記録として、貴重なものです。

こころを元気にするメッセージ

募集結果

市では、2月22日を「こころを元気にする日」、毎年2月20日から26日までを「こころを元気にする週間」に定めています。それにちなんで、市民一人ひとりに「こころの健康」に関心を持ってもらおうと、12月から1月まで「大切な家族のこころを元気にするメッセージ」を募集しました。

今年は、昨年に比べて854件多い、1134件の応募がありました。応募作品には、「だいじょうぶ!」「どうしたの?」と家族を気に掛ける言葉や、仕事や家事を頑張る家族に「いつもありがとう」と、こころ温まる感

謝の言葉が多く集まりました。応募状況は次のとおりです。

- ・小学生 950件
- ・中学生 179件
- ・一般 5件



なお、応募があつたメッセージは3月の自殺対策強化月間に合わせ、市のホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。い掲載期間3月31日まで。

皆さんの一言で、救われる人がいるかもしれません。ぜひ、一声かけてみませんか。

■健康福祉課 ☎0287-887115



節分の日の2月3日(月)、八雲神社で毎年恒例の節分行事「追儼祭」が盛大に開かれました。これは、1年の無事を祈るため、今年の当番

八雲神社で追儼祭 「がらまき」にぎわう

町「日野町」を中心に取り仕切られた年間行事の一つです。
午後5時半頃から会場にはお囃子の音が鳴り響き、いよいよ祭の始まり。日野町の消防団による「どんど焼き」も行われ、「正月飾り」や「だるま」などを手に持った参拝客でにぎわいました。午後7時から、厄除けや開運祈願の神事も行われ、終盤にさしかかると、境内はあふれかえるほどの人でいっぱい。そして、午後8時過ぎには、年男や年女、神社役員等が参拝客に縁起物などをまわし、「がらまき」が行われました。参拝客からは、「こっちこっち、もつとちやうだい」という声があちらこちらから聞かれました。



本番直前でもにっこり(市伝統伝能まつり)。

まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材にうかがいます。

総合政策課秘書広報担当
☎0287-83-1112

烏山みどり幼稚園・みどちゃん保育園 1年間の作品を家族に披露



上:烏山みどり幼稚園。
下:みどちゃん保育園。

烏山みどり幼稚園とみどちゃん保育園では、2月1日(土)・2日(日)、毎年恒例の「作品展」を開きました。
これは、園児が昨年4月から約1年間で作成した様々な作品を展示し、その成果を家族にも見てもらおうと開かれているものです。
絵や粘土、親子で制作した作品は、約1000点。各組の教室を使った展示会場には、家族連れでにぎわい、親が「よくできたね」と子どもたちに声をかける姿が見られました。

南那須いきいきクラブ連合会 芸能大会で唄や舞踊楽しむ

南那須いきいきクラブ連合会(荒井豊会長)では、2月17日(月)、南那須公民館で第27回「高齢者芸能大会」を開きました。
これは、高齢者が趣味を持ち、生きがいのある生活を営むために毎年開かれているものです。

に所属する46組が唄や舞踊など、日頃の練習の成果を発揮しました。途中、ユーモアある踊りで観客から笑いが起こるなど楽しい会になったようです。また、閉会式では、全員で「故郷」を合唱するなど、和やかな雰囲気にも包まれていました。



歌声が響きわたる会場。

U16・投手 中山日菜子さん 台湾遠征から帰国

藤田出身の中山日菜子さんが、ソフトボール女子U16（16歳以下）日本代表の投手に選ばれ、1



「これから頑張ります」と話す中山さん。

月19日（月）から1月24日（金）まで、平成25年度全国女子ジュニア育成中央研修会（NTS）優秀選手2014台湾遠征に参加しました。

現地では、強化練習や台湾の上位3チームと交流試合などを体験しました。初日、空港で初めて顔を合わせた代表選手ですが、試合では、見事なチームプレーで5試合全てコールド勝ちという圧倒的な強さをみせました。中山さんは、「U16に選ばれ、

全国各地の優秀選手とプレーできてうれしい。初めての海外遠征は、食事など環境の変化に対応するのが難しかった。これから遠征が増えるので慣らしていきたい」と話していました。

また、4月から宇都宮文星女子高等学校に入学が決まっている中山さん。次の目標を聞くと、「インターハイで優勝すること。そして、U19やオリンピックも目指している」と力強く話していました。

外国人による日本語で話す発表会

市国際交流協会では、2月16日（月）、烏山公民館で「外国人による日本語で話す発表会」を開きました。

発表会は、同協会が開く「日本語教室」に通う外国人等が、日頃の学習成果を披露する場として、初めて実施したものです。

発表者の10名は、それぞれ仕事や結婚をして本市で暮らしており、在日年数も、1年に満たない人から18年間住んでいる人などさまざま。当日は「外国人から

見た那須烏山市」、「日本で学んだこと」、「将来の夢」などをテーマにした内容のスピーチを堂々と発表しました。約100人の観客からは温かい拍手が送られ、会場は和やかな雰囲気になりました。

同協会副会長の萩原宣子さんは、「市民に外国人がどのように感じて暮らしているのかを知ってもらい、改めて本市を見つめ直す機会になれば」と話していました。



発表した外国人の皆さん。

南那須B&G海洋センター 3年連続「特A評価」受ける



「特A評価」を受けた南那須B&G海洋センター。

「第6回B&G全国サミット（公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団主催）」が1月30日（木）、東京都の笹川記念会館で開かれ、「南那須B&G海洋センター」が最高ランクの「特A評価」を受けました。

これは、センター利用者や事業開発等の評価で選定されるもので、県内では、本市を含め3箇所、全国では181箇所が対象となりました。また、同センターは、3年連続で「特A評価」を受け、これを励みに、今後も海洋スポーツの普及に取り組んでいくことにしています。

祝・満100歳 青木タネさん



「100歳を迎えることができうれしい」と話す青木さん。

青木タネさん（三箇）が、2月8日（土）、満100歳を迎え、大谷範雄市長から花束や祝詞等が手渡されました。

市内の老人福祉施設で療養する青木さんは、現在足を悪くし車イスで過ごしていますが元気そのものの。「施設の友達と楽しむレクリエーションがとても楽しみ」と笑顔で話していました。

当日は、施設の職員や入所者等が青木さんの誕生会を催し、100歳の誕生日を祝いました。

おめでた

赤ちゃん名(保護者)住所

池田 樋山 堀江 岡藤 佐藤 小池 本間 齋藤 齋藤 小原 仁野 蓼沼 高久 黒尾 八幡 赤ちゃん名(保護者)住所
志朝 陽(光・佳奈) 希(儀・真美) 琉(儀・真美) 平(篤・美奈子) 大(真・理恵) 真(子・浩文・真美) 悠(孝・市・友恵) 燈(孝・市・友恵) 悠(孝・市・友恵) 晴(孝・市・友恵) 樹(卓・也・良枝) 琉(裕・之・恵美) 純(賢・一・涼子) 奈(隆・行・奈枝) 小倉 所

あなたのところは元気ですか？ 3月は自殺対策強化月間

春は、寒暖の差が大きくなる気候的な変化に加え、進学や就職、転勤など環境の変化から、「からだ」だけでなく「こころ」の調子も崩しやすい時期です。こころの病は、風邪と一緒に、珍しいものではありません。

■こころが疲れているサイン

・眠れない ・朝起きるのがつらい ・夕方になると気持ちが楽になる ・人に会いたくない ・食欲がない ・疲れがとれない



1人で悩む必要はありません。まずは相談してみませんか？

〈電話・来所相談〉

- ・ 栃木県精神保健福祉センター
028-673-8785
- ・ 栃木県烏山健康福祉センター
0287-82-2231
- ・ 那須烏山市健康福祉課
0287-88-7115

〈電話相談〉

- ・ こころのダイヤル
028-673-8341
- ・ 栃木いのちの電話
028-643-7830

〈専門医による相談〉

- ・ 精神保健クリニック
毎月第2水曜日午後・要予約
栃木県烏山健康福祉センター
0287-82-2231

●平成25年度栃木県PTA三行詩コンクール
栃木県PTA連合会長賞
【小学生の部】山本耀椰(烏山小6年)
【一般の部】塩畑祥子(野上)

コンクール結果

山口 綾斗(紘毅・公美) 旭1丁目
田野 ひなの(悦隆・真弓) 野上
小森 美(雄二・直美) 下
高松 星(来典・明雅) 代熊
荒船 葉(愛雄・太佐) 緒重下川
高野 叶(夢智・之悠) 大
佐藤 丈一郎(浩邦・真弓) 宮
羽石 結愛(拓哉・恵) 森田原桶

※ここでは保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

なお、塩畑さんは全国大会において佳作を受賞しました。(※12ページに掲載記事あり)

あなたの税が未来を拓く 市町村税滞納ばく滅月間2014

◆県下一斉の取組

県内の各市町では、納税の公平と税収の確保を図るため、3～5月を「市町村税滞納ばく滅月間2014」として、栃木県と協力して、県下一斉に徴収強化に取り組んでいます。

◆納期内に納付を

市税の滞納は、市の財政を圧迫し、福祉や教育などの市民サービスに支障をきたします。そして、納期内に税金を納めている大多数の皆さんとの公平性を欠くことになります。

◆差し押さえを強化

税金を納期限までに納めなかった人には、まず「督促状」が送付されます。この督促状が発送された日から10日を経過した日までに完納しなかったときには、市は滞納者の財産(預貯金、生命保険、不動産、給料、自動車、動産(電化製品や美術品、貴金属等))を差し押さえることが法律で定められています。

◆事情がある場合は相談を

病気や失業、事業の廃止、災害にあったなど、やむを得ない理由で税金を納期内に納めることが困難な人は、市税務課収納対策室 ☎0287-88-7113 まで連絡してください。

薪ストーブ専門店

◎薪ストーブ販売・設計施工、アクセサリ・薪販売
薪割り体験・薪ストーブクッキング実演開催中！！

全国26店舗 安全安心な施工ネットワーク

ファイヤーライフ真岡

真岡市下高間木2-9-2 TEL0285-85-5687

http://www.firelife.jp Open:10:00～18:00 水曜日定休

ふるさと応援寄付金に ご協力ください

市では、ふるさと納税制度による応援寄付金をお預かりし、自然保護や文化遺産、福祉や教育の充実、観光や産業など寄付者が希望する事業に活用しています。ひかり輝くまちづくりのため、皆様の応援をお待ちしています。

なお、寄付者には、税額控除などの優遇措置や特典などがあります。詳しくは、市ホームページの「ふるさと納税」をご覧ください。

■総合政策課

☎0287-83-1112

市の人口

2014.2.1現在
() 対前月比

人口 27,687 (-36)

男 13,619 女 14,068

出生 21 死亡 43

転入 51 転出 65

世帯数 9,569

※平成22年国勢調査を基に集計した統計人口です。

編集後記

○2月はたくさん「雪」が降りました。昨年の3月までペーパードライバーだった私は、初めて雪道の運転をしました(怖かった...)。子どもの頃は雪が降ったら喜んでいたので...こうやって大人になっていくのですね。

○それに対して子どもたちは元気！ある雪が降った日の夕方、烏山庁舎隣にある八雲神社の境内から子どもたちのはしゃぎ声が！気になって行ってみると小学生6人が仲良く雪合戦をしていました。

○「お姉さんも一緒にやる〜？」と聞かれたので、「やろうかな！」と答えると、その中の一人の男の子が、「じゃあ、お姉さんカメラ持ってるから僕が守ってあげるから！」と、手を広げて私の前に...。外はとても寒かったけど、心はとってもあたたかくなりました。

○ちなみに今回の表紙の子どもたちです！そのあと、うれしくて編集作業が進みました。ありがとう！

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

●一般図書●

『幸福力』 海原 純子
『人生はワンチャンス！』 水野 敬也
『70歳を過ぎた親がひとりになったら』 河合 千恵子
『ひと皿で一日分の野菜がとれるよくぱりレシピ』 石原 洋子
『寅さんのことば』 佐藤 利明
『直木賞物語』 川口 則弘
『ホップステップホーム！』 玉岡 かおる
『首折り男のための協奏曲』 伊坂 幸太郎
『破門』 黒川 博行
『札幌アンダーソング』 小路 幸也
『山桜記』 葉室 麟
『風の向こうへ駆け抜けろ』 古内 一絵
『光りの海』 町田 宗鳳
『乱丸 上下巻』 宮本 昌孝
『その手をにぎりた』 柚木 麻子

●児童図書●

『あたらしい子がきて』 岩瀬 成子
『黒魔女の騎士ギューバッド part 1』 石崎洋司
『若おかみは小学生！スペシャル短編集1』 令丈 ヒロ子
『パピペポーおながくかい』 かこ さとし
『ひとりでおとまりしたよるに』 フィリパ ピアス

●DVD●

『機動戦士ガンダムI 特別版』
『貞子3D』『映画 タニタの社員食堂』
『Z ONE PIECE FILM』
『新しい靴をかわなくちゃ』
『アメイジング スパイダーマン』
『最高の人生のはじめ方』
『最強のふたり』『人生の特等席』
『パシフィック・リム』

川柳

篠崎 酔月 選

携帯の水空にする野良仕事

世崎 宗太(ハケ代)

母さんも時には迷う双りっ子

吉澤 恒子(落合)

音痴でも飲むとマイクを離さない

関 元氣(小塙)

実の子が妬くほど夫婦仲が良い

白寄 多美(金井)

俳句

齋藤 穂 選

喰積やとどのつまりはみなひとり

川俣登志子(旭)

点滴の雫のひまのかざり駒

塩野目洋子(初音)

蓬菜や手造り縄の帆を揚げて

水野 信一(月次)

影さへも肩を丸めて冬の月

小針 久子(月次)

文芸

短歌

福澤 悦子 選

御仏は湯気召しあがると伝え聞く炊きたて御飯今朝も供えむ

吉澤 紅月(南)

寒の雨「起きよ起きよ」と屋根叩く老い二人にまた今日が始まる

矢口 玄鳥(大金)

夕食は芋のみ戦時下の食糧難疎開児も日々我慢しにけり

川手 トヨ(金井)

盲目の君の声聞く大寒の庭の水仙薔ふくらむ

角田かほる(南大和久)

作品募集

毎月10日までに、総合政策課秘書広報担当
(〒321-1069 那須烏山市中央1丁目1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

子どもから大人まで「食」への関心を！ 愛情たっぷりお弁当づくり

食育推進プロジェクト委員会では、お弁当作りを通して、子どもから大人まで「食」への関心を持ってもらおうと、市民及び市内通勤者等を対象に「地元食材を使った！手作りの！『わが家のおべんとうレシピ＆写真』を募集しました。その結果キャラ弁部門8作品、一般部門1作品の応募があり、キャラ弁部門では、健康福祉まつりやこども館まつり、健康福祉センター来場者による投票、食育プロジェクト委員による審査により入賞作品(上位3点)を決定しました。

結果は次のとおりです。

■1位：屋代真由美さん(興野)「あけてビックリ！ニコニコおにぎり」

中学生のお子さんのために作ったというお弁当は、見た目のかわいさはもちろん、彩りの良さとバランス、自分でも作ってみたいと思わせてくれるような「手軽さ」が人気の決め手になりました。

■2位：湯家谷絵里華さん(鴻野山)「ハロウィンパーティ☆」

■3位：村上奈津美さん(野上)「夢をかなえておべんとう」

今回応募された作品は、家族のために作られた愛情たっぷりです、どれもすばらしい作品ばかりでした。応募作品の写真とレシピは、市ホームページに掲載しますので、ぜひ、参考にして楽しい食卓のヒントにしてください。

1位：「あけてビックリ！ニコニコおにぎり」



2位：「ハロウィンパーティ☆」



3位：「夢をかなえておべんとう」



有料広告

チラシ・封筒・伝票・看板・ホームページ

フルカラー共同広告
毎月25日発行
1枠 5,250円～

アドワークス 烏山 検索

ケータイで見える



株式会社 アド・ワークス

那須烏山市野上1162 (寺澤太鼓店前)

Call 0287-83-8633

烏山商店会連合会 城下町からすやま雛めぐり

お雛様と一緒に(こども館にて)。



烏山商店会連合会(阿相光郎会長)では、2月4日(火)から3月3日(月)まで、「城下町からすやま雛めぐり」を開きました。これは、震災犠牲者の供養や女の子の健やかな成長を願うとともに、地域活性化などのために行われています。

3回目を迎えた今年は、会員店舗や公的機関等36ヶ所にお雛様が飾られ、より多くの会場をまわってもらおうと新たにスタンプラリーも行われました。

同連合会では、4月5日(土)から5月5日(月)まで「第3回端午の節句かざり展」も開催を予定しています。